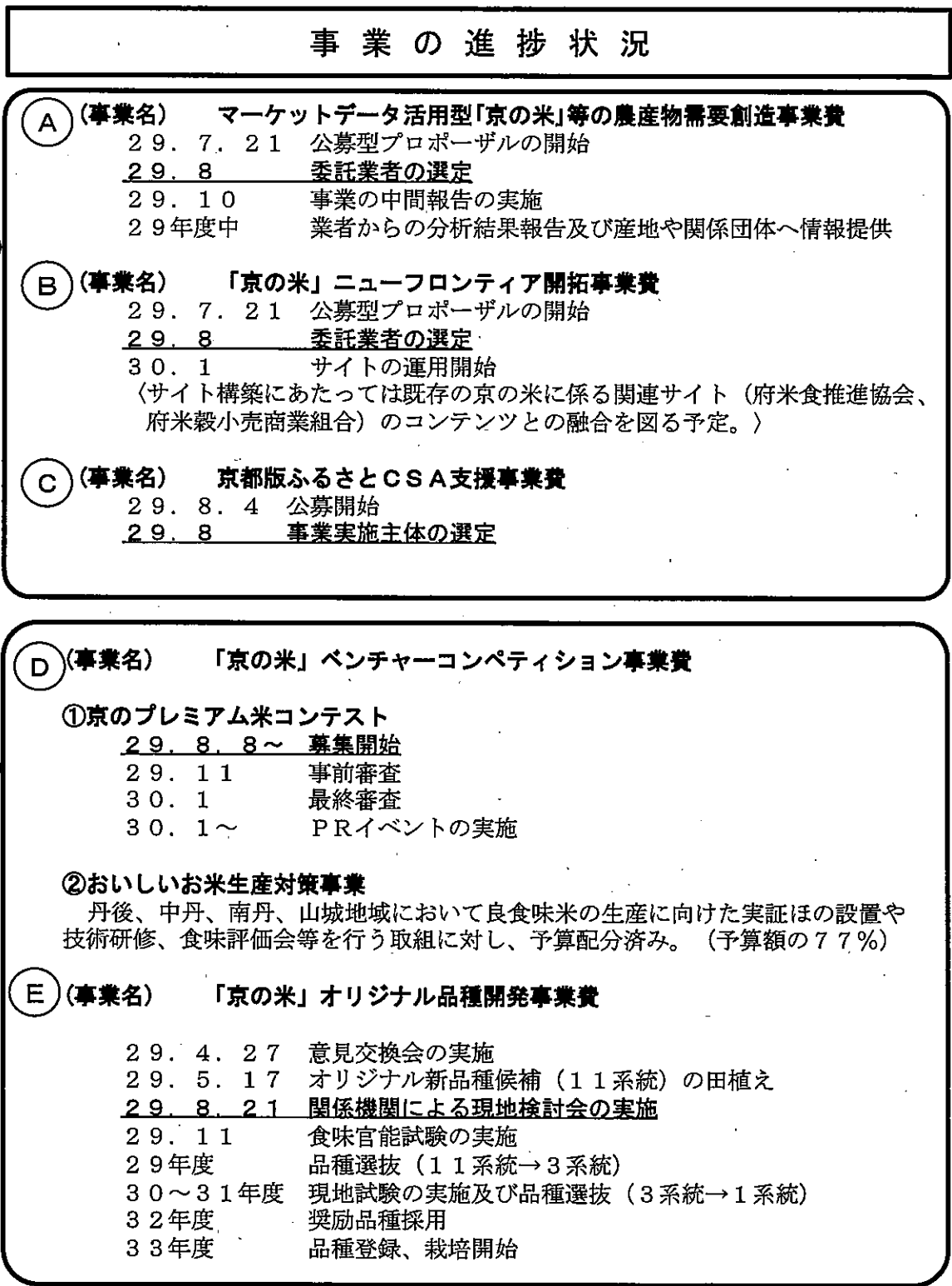
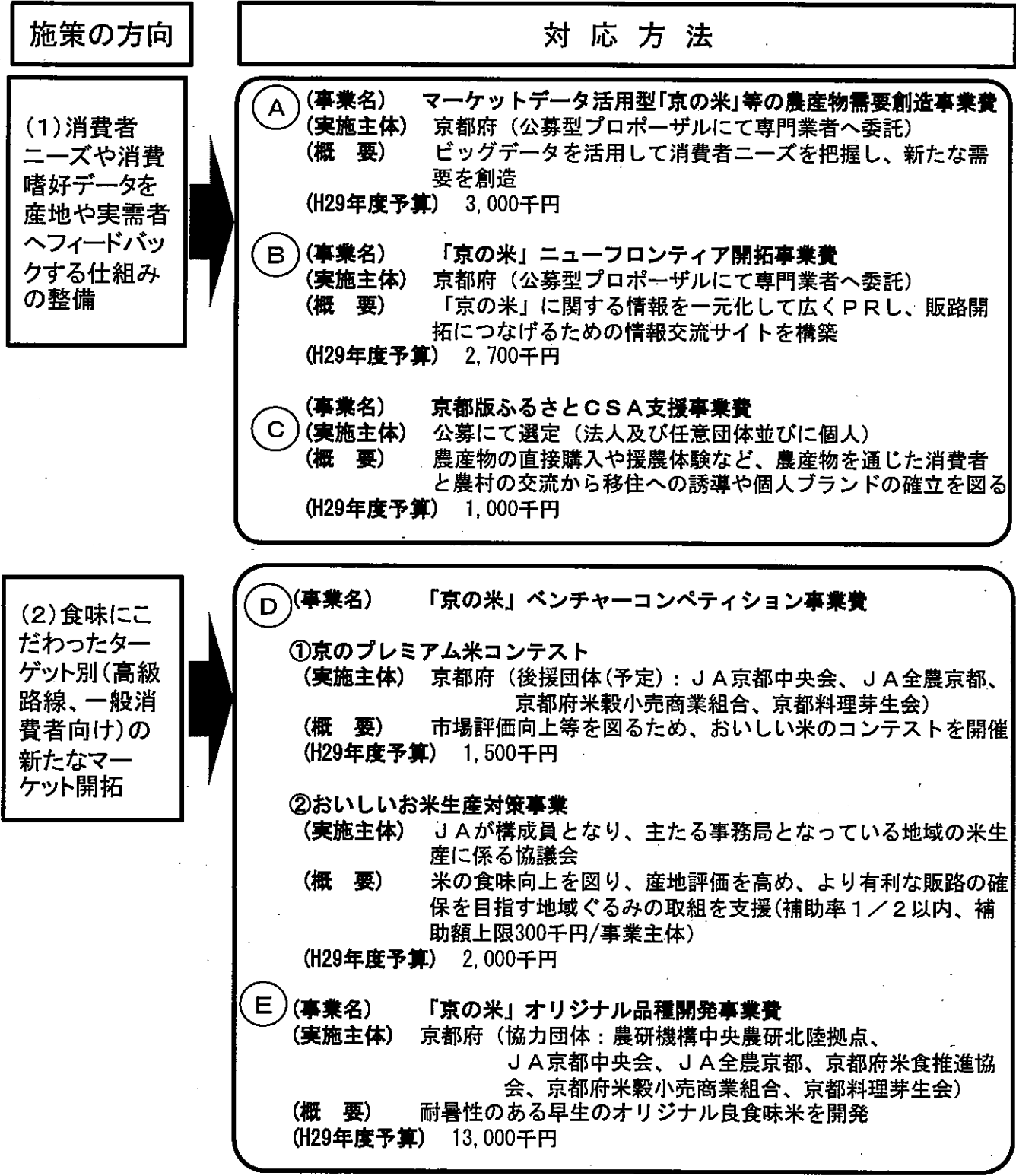


アクションプラン3つの目標と事業の対応状況

1 インバウンドも含めた国内外のマーケットデータの活用と京都ブランドの確立による販路開拓



2 京都に結集している食に関係する多種・多様な産業とコラボした需要の創造

施策の方向

(1)新たな需要の創造

(2)日本酒、和菓子、米菓、味噌など食品加工業者との結びつきの拡大

(3)京の米や米加工品を使用した地場産品等の販路開拓等のPR活動

対応方法

- F (事業名) 「京の米」6次産業化事業費**
(実施主体) 地域の米生産に係る組織と実需者組織による協議会 農業者が組織する団体、JA等
(概要) 京の米を用いた商品の開発や市場開拓に必要な計画の検討並びに商品の試作及びPR活動等の支援(補助率1/3以内、補助額上限500千円/事業主体)
(H29年度予算) 1,700千円
- G (事業名) 「京の米で京の味づくり」事業費**
(実施主体) 地域の米生産に係る組織と実需者組織による協議会 農業者が組織する団体、JA等
(概要) 京の地場産業等実需者からのオーダーに基づいた米の生産に必要な栽培実証及び実需者との計画協議等の支援(補助率1/2以内、補助額上限150千円/事業主体)
(H29年度予算) 2,100千円

事業の進捗状況

- F (事業名) 「京の米」6次産業化事業費**
 山城地域において米を用いた新商品(京たけのこごはんセット等)の販路開拓の取組に対し、予算配分済み。(予算額の20%)
 今後、「京の米」を使用した日本酒のPRの取組(京野菜フェスティバルにおける試飲会の取組)に対し、支援するとともに、支援を必要とする産地を開拓する予定。
- G (事業名) 「京の米で京の味づくり」事業費**
 南丹、中丹、丹後地域にて、実需者のニーズ(酒造原料米や味噌原料用多収米)に対応するため、現地実証試験栽培、現地検討会・情報交換会の開催等に対し、予算配分済み。(予算額の20%)
 今後、支援を必要とする産地を開拓する予定。

3 知恵産業や大学などのノウハウやアイデアを活かしたコメの生産効率化と高品質化

施策の方向

(1)省力化や低コスト生産対策の拡充

(2)食味や実需者ニーズにこだわった生産対策の創設

対応方法

- H (事業名) 「京の米」生産イノベーション事業費**
(H29年度予算) 55,000千円
- ①生産・流通機械、設備の導入による受注生産支援対策**
(実施主体) 認定農業者、農業者が組織する団体、JA等
(概要) 需要に対応した生産販売の高度化に必要な機械・施設等の整備を支援(補助率4/10以内、一部1/2以内)
- ②施設の整備による長寿命化支援対策**
(実施主体) 認定農業者、農業者が組織する団体、JA等
(概要) 共同乾燥施設など生産基盤を長寿命化させる機能保全対策への支援(補助率1/4以内)

事業の進捗状況

- H (事業名) 「京の米」生産イノベーション事業費**
- ①生産・流通機械、設備の導入による受注生産支援対策**
 29.4.18 広域振興局に対し予算配分(予算額の80%)
 (酒米や特別栽培米等需要に応じた生産に必要な乾燥調製施設や色彩選別機、コンバイン等の整備の取組を支援)
 29.8. 広域振興局に対し予算の追加配分
 ~29.9. 事業着手
- ②施設の整備による長寿命化支援対策**
 29.8.4 広域振興局に対し予算配分(予算額の100%)
 (共同乾燥施設や共同育苗施設等の機能維持の取組を支援)
 ~29.11 事業着手